

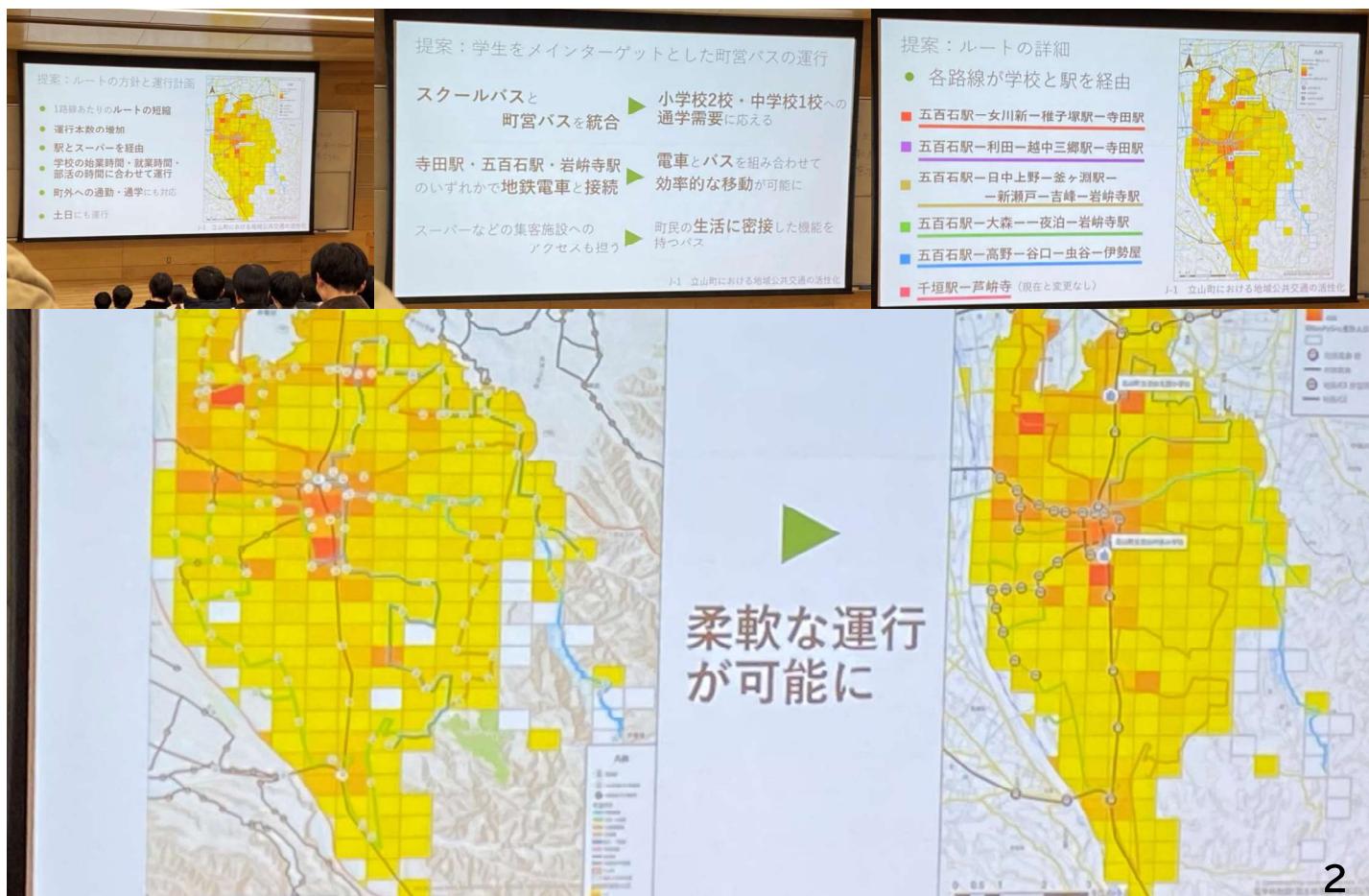
計画の策定に関する最近の動向について（本協議会直営事業以外のもの）

- 第1回本会議以降、町では様々な機会を捉え、計画策定に向けた意見交換会等を実施。
- 主に、「運行本数増」「駅を中心とした目的地創出」「利用しやすい料金体系」「車内の目的地化」「長大路線の短距離化」などの提案・意見。
- これらを今後策定を進める計画に反映するとともに、今後も可能な限り幅広い関係者の方々との意見交換の場の開催を検討。

1 2024地域デザインPBL	2 庁内若手職員とのWS	3 データを活用した交通人材育成
日 時 令和6年12月24日（火）	令和7年1月8日（水）	令和6年11月14日（木）ほか
会 場 富山大学	立山町役場	富山県農協会館ほか
参 加 者 富山大学生（3年生）	町職員（1～6年目）	市町村職員、町内事業者等
概 要 <ul style="list-style-type: none"> ・学生が授業の一環として「デザイン思考」を生かし、立山町の公共交通活性化策を検討。 ・担当職員が現状・課題の共有、提案のプラスチックアップに係る助言等の面で参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手町職員のサポートの枠組みの中で、実験的にWSを実施。 ・担当職員がファシリテーターの立場で参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県と「ヒトとマチの動かし方」研究会UgoQが交通人材育成事業を実施。 ・地域のデータ収集・整理を踏まえたWSに担当職員が参加。 ・上記を踏まえ、地域交通コミュニティの創出を試行。
写 真		

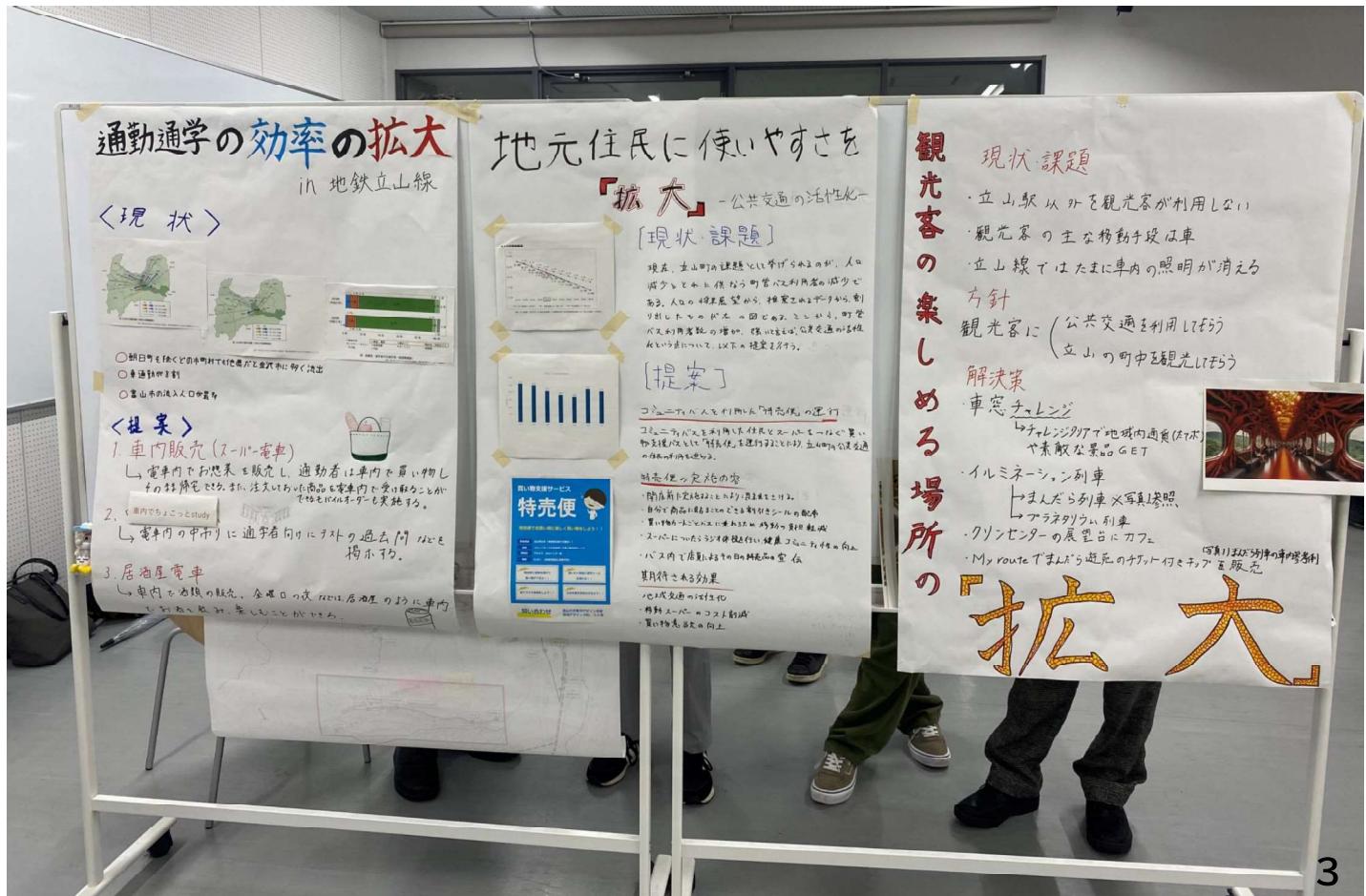
1

1-1. 2024地域デザインPBL（12月24日 J-1班）

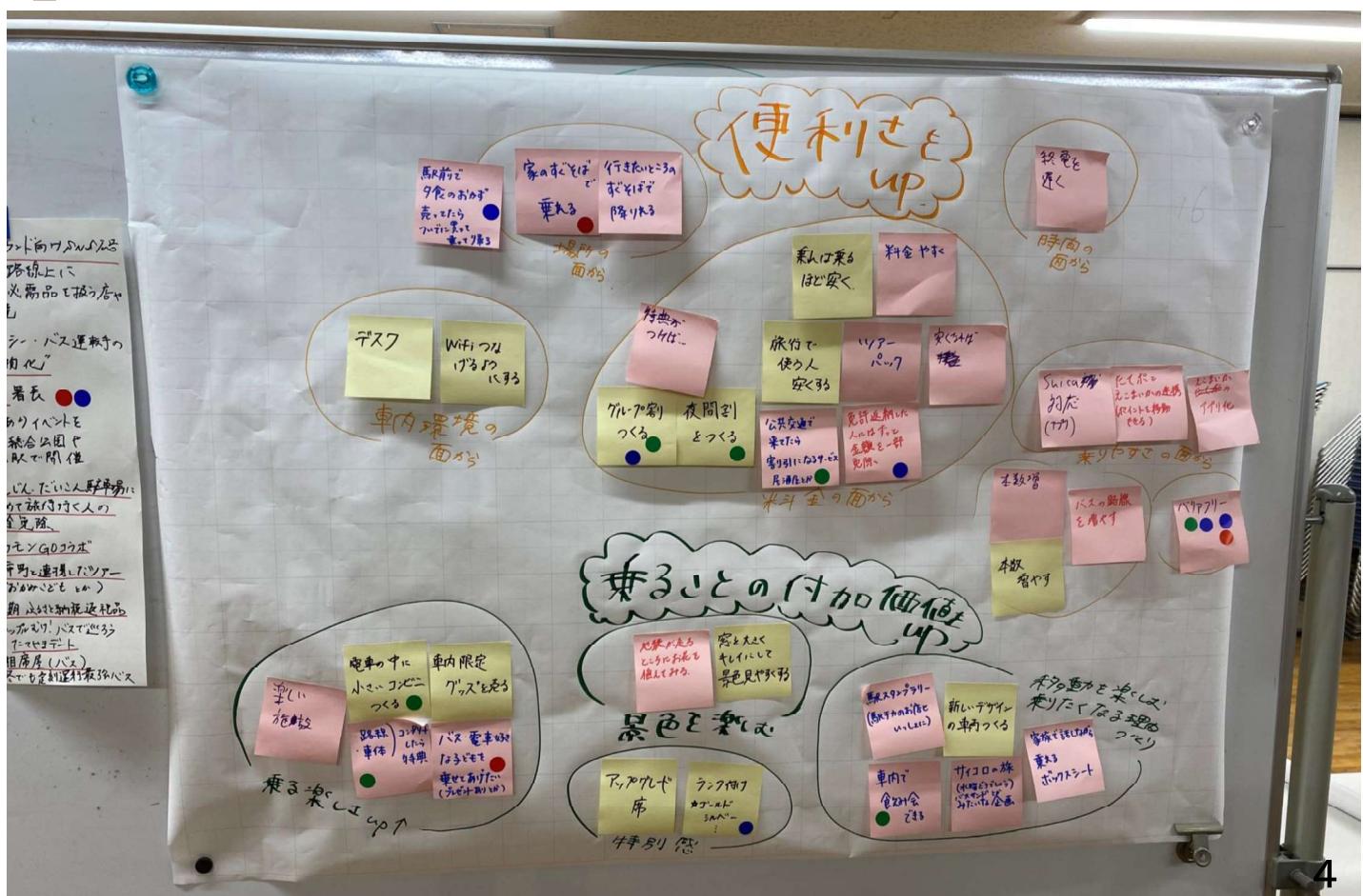


2

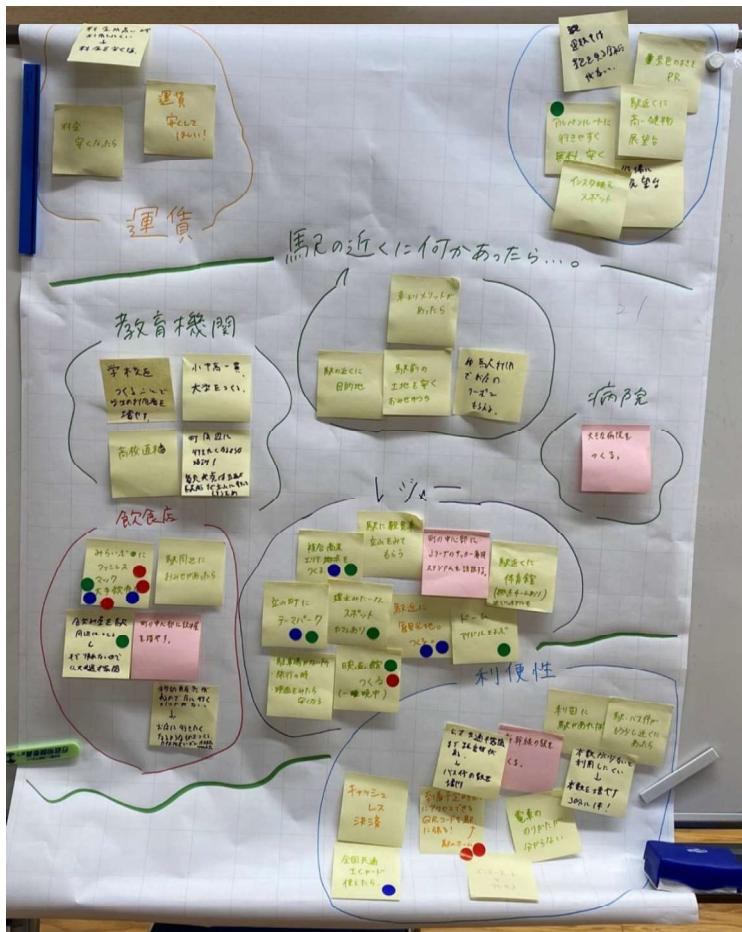
1-2. 2024地域デザインPBL (12月24日 J-2班)



2-1. 庁内若手職員WS (1月8日 A班)



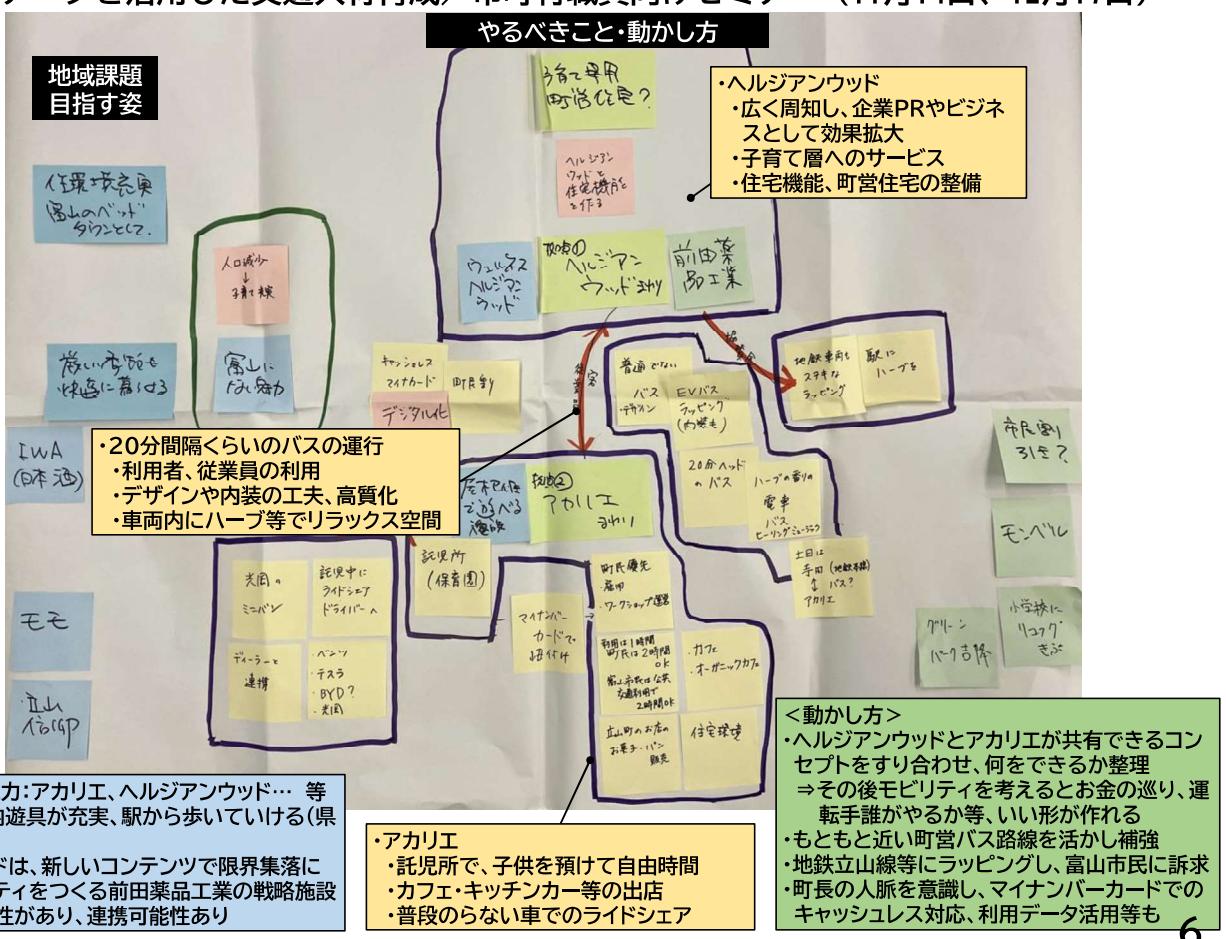
2-2. 庁内若手職員WS (1月8日 B・C班)



- ・インフルエンサー雇用
- ・国立芦峰大学
登山学部
(国少キャンパス)
- ・まちなかに
学生寮を誘致
- ・路線制覇者の
住民税減免
+ 景品
- ・足の不自由な人が
健歩きやアヒ企画づくり
(対象者へ助成)
- ・富山市から公共交通で
通う人に助成金
- ・バスガイド(美人)
- ・富山高校生
インフルエンサー(アイドル?)
- ・インバウンド向けPR活動
- ・バス路線上へ
生活必需品を扱う店舗
喫食
- ・タクシー・バス運転手の
「名物化」
- ・初署長
酒類イベントを
立山総合公園や
芝生広場で開催
- ・にんじん・だいこん入野菜湯
停めて旅行く人の
料金免除
- ・ポケモンGOコラボ
- ・上市町と連携してツアーエリア
(みちかみへどもじか)
- ・定期巡回と地元旅返礼品
- ・かんかんむり!バスで走る
アーティスト
- ・相席屋(バス)
冬でも定刻運行最高バス

5

3-1. データを活用した交通人材育成／市町村職員向けセミナー (11月14日、12月17日)



6

3-2. データを活用した交通人材育成／アカリエにおけるシールアンケート（2月16日）



7

3-2. データを活用した交通人材育成／アカリエにおけるシールアンケート（2月16日）

アンケート② 今日、アカリエ以外どこへ？ (@立山町内)

買い物 (スーパー・コンビニ・DS等)

昼ごはん

その他

統合巡回実験ささやま

五ヶ所駅

カフェ・喫茶店

夜ごはん

なし

交通に関するメッセージ・ニーズをお願いします！

吉、立山町に住んでいたが前回、住んでいたところはバスで立山町へ向う。

新しく立山町へ引っ越すので車を使おう。

立山町へ10分くらいかけて車を使う。

情報が少ないのでまだ知らないところを教えてもらおう。

アカリエがいい施設がほしい。また、立山町へ向う。

車があるが、電車、バスの少ない調理やの立山町へ向う。

冬に車や車で立山町へ向う。除雪しきりたいと思う。

立山町へ向う。立山町へ向うで除雪がうまく立山町へ向う。

立山町へ向う。立山町へ向うで立山町へ向う。

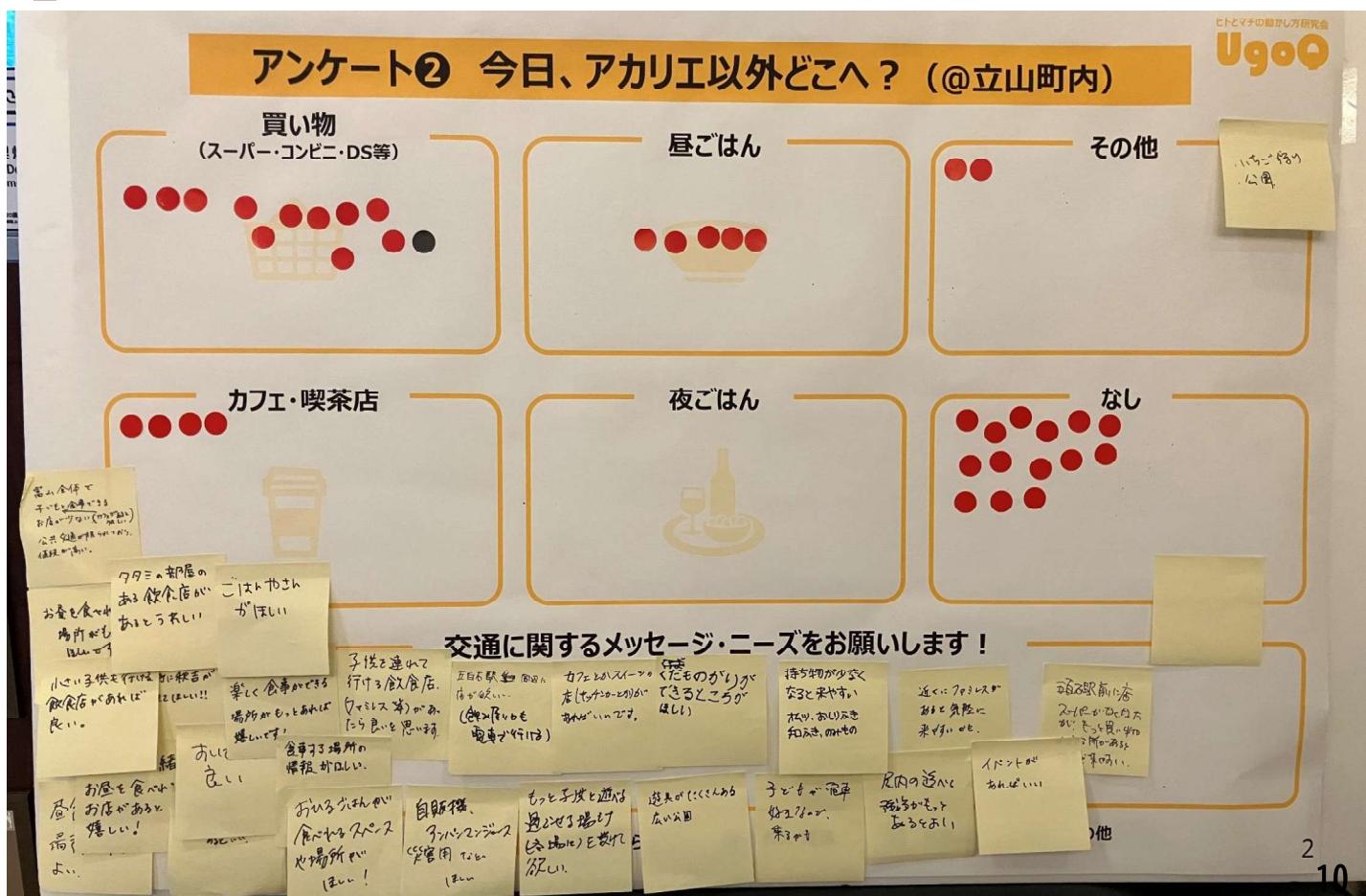
● 自分の車 **● 車に乗せてもらって** **● バス・電車** **● 自転車** **● その他**

28

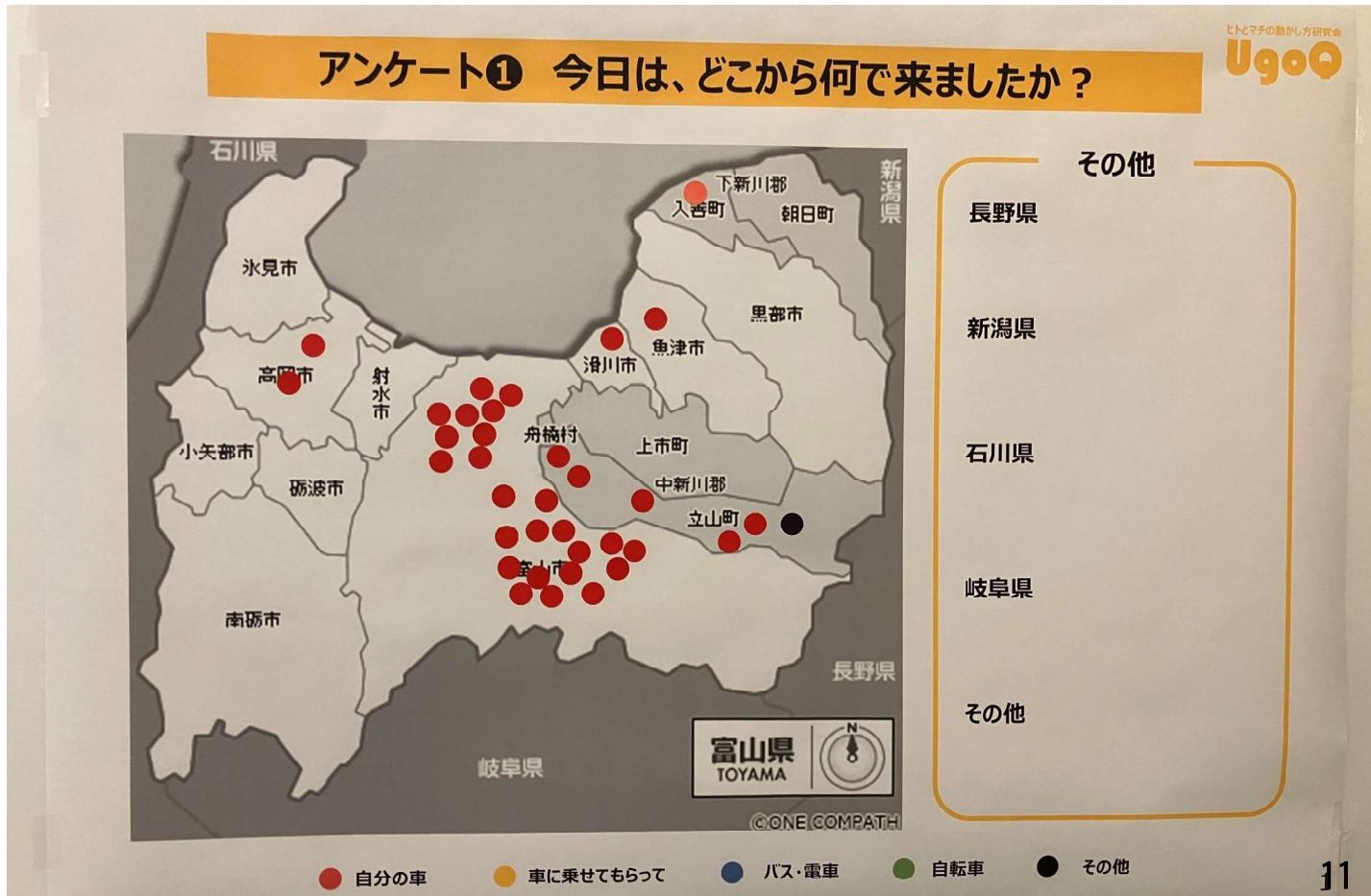
3-2. データを活用した交通人材育成／アカリ工におけるシールアンケート（2月16日）



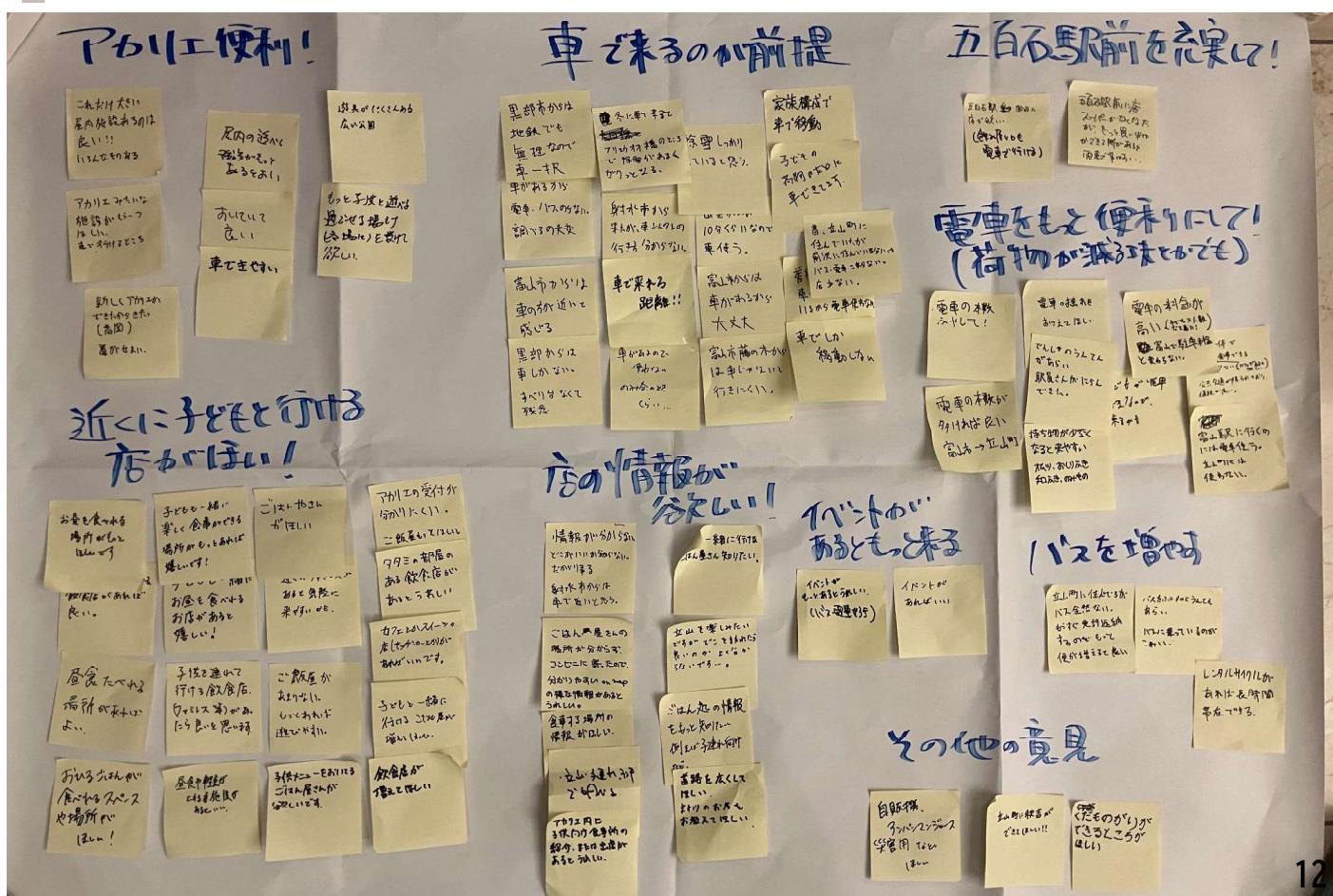
3-2. データを活用した交通人材育成／アカリ工におけるシールアンケート（2月16日）



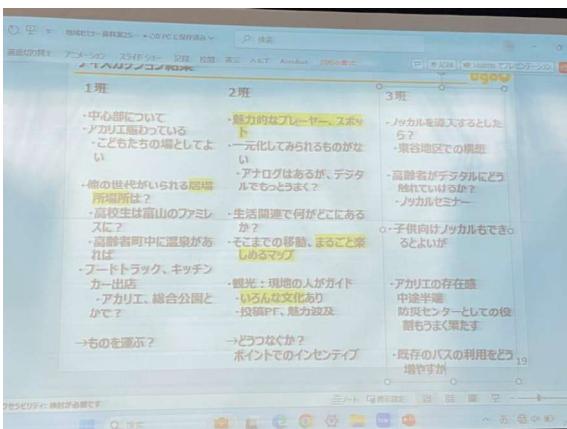
3-2. データを活用した交通人材育成／アカリ工におけるシールアンケート（2月16日）



3-2. データを活用した交通人材育成／アカリ工におけるシールアンケート（2月16日）



3-3. データを活用した交通人材育成／民間事業者の協議の場の試行（2月17日）



13

3-3. データを活用した交通人材育成／民間事業者の協議の場の試行（2月17日）

1班

- 福来者（ふくろう）／いしだ
- バス停まで距離がある 歩けない
 - ダイヤ 帰りにバスが無い 時間潰すところもない
 - 町営バス 走っているエリア 目的を限定して集中的に運行しては
 - 店舗等から送客に対して1%の協力金を貰える仕組み
 - アカリエ 富山市（外部）から来ている人が多いのは良いこと
 - 人があつまるところ まちなかに温泉施設があると良い

- シタカオートサービス／したか
- 公共交通機関 頻度が少ない
 - 観光 終電で降りたときに1時間待ち 岩崎寺駅前に何も無い
 - アカリエ 富山市の人も知っている 子どもを遊ばせる場所として周知が進んでいる
 - コンパクトシティ 駅前に年配の方が住む傾向があるが、まちなかに買い物できるところがほしい

- 陽咲玲（ハルザレ）／げんち
- 岩崎寺駅より奥は乗る人がいない
 - 鉄道が無いエリア バス路線でカバーできれば
 - 学校存続のために子どもの足確保は重要
 - ママ友つながりで行くことが多い でもランチできるところがない 中華しかない アカリエで遊んで終わり
 - 土日 人が多くて避ける傾向あり ほぼ100%自家用車
 - 無料で遊べるのに有料で公共交通を使うことに抵抗あり

まとめ

【エリア：中心部】
どんな場所があると良いか
高校生→ファミレス
・時間潰す・おしゃべり
・コミュニティースペース
・いまは富山市に行ってしまっている

町民→フードトラックが集まる場所
・店を作るよりハードル低い
・ベビーカステラ（有名店あり）

高齢者→温泉

【エリア：岩崎寺】
・ネットワーク維持

- わっと広告デザイン事務所／さかもと
- 本数が少ない
 - 今後もっと減ることを危惧
 - 町民ですら活用していない店舗あり 町民が楽しめる場所づくり 町民が自らの町に興味を持つように！
 - 埋もれている情報を集めて発信 ルートも組む モビリティ活用
 - たてぼ（地域通貨）をうまく活用する

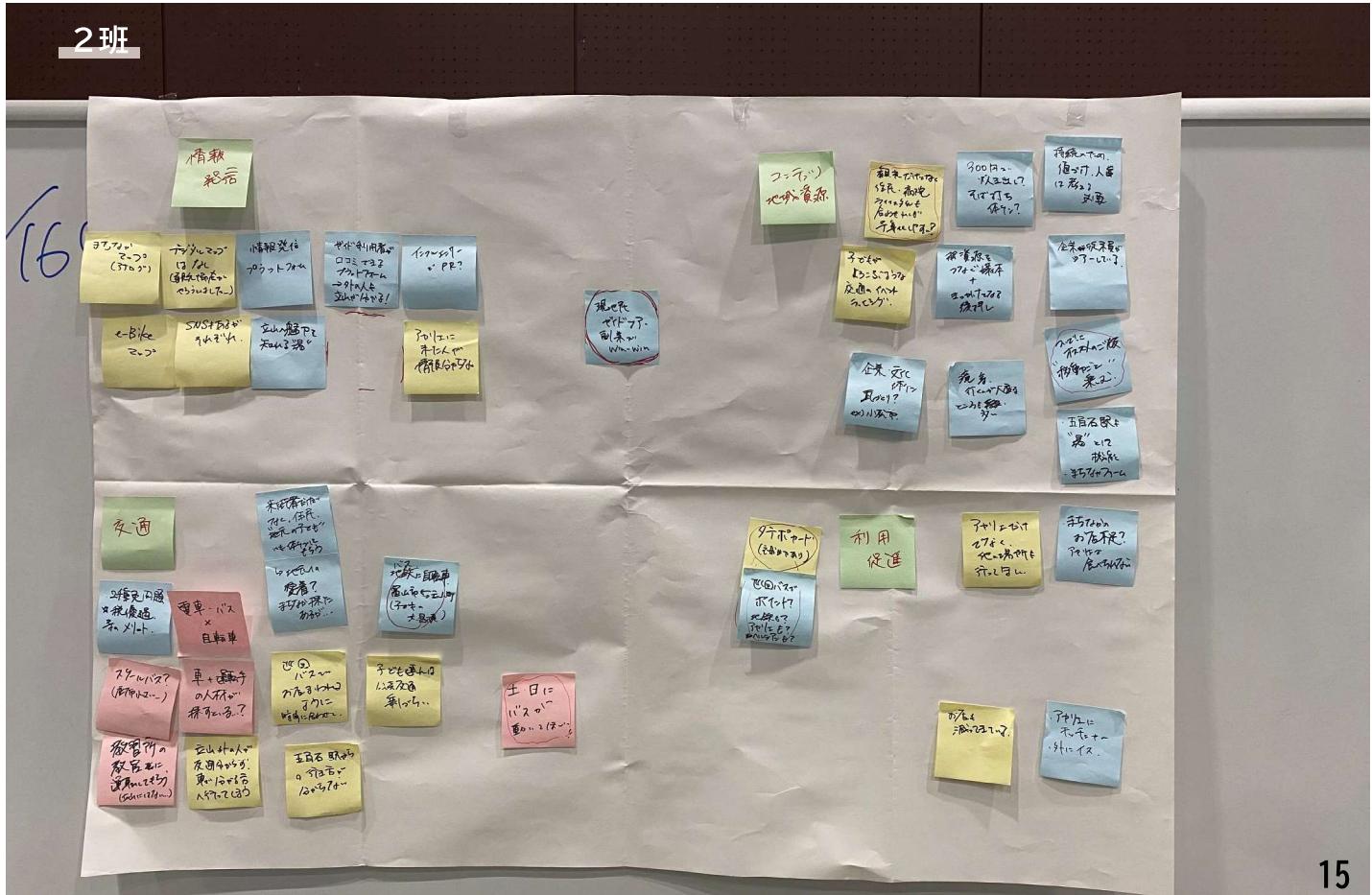
- 立山町観光協会／くらばやし
- 町営バス 普通のタクシー アルペンルートの時刻表と連携できていない
 - アカリエ モデルコース ランチ込み 交通手段もうまく連携させる必要あり
 - 高校生がひましてる 買い物ができる場所がない

- 商業協同組合／いしら
- みらいに委託管理
 - アカリエ駐車場少ないのでみらいぶに流れてくる
 - アカリエ 時間制限あり 1日過ごすための環境が周りにない
 - 「立山町に来たら楽しめる！」となるコンテンツがほしい 飲食や公園
 - 子連れが気軽にいける飲食店が無い
 - 地域食堂（子ども食堂）のようなものがあると良い

14

3-3. データを活用した交通人材育成／民間事業者の協議の場の試行（2月17日）

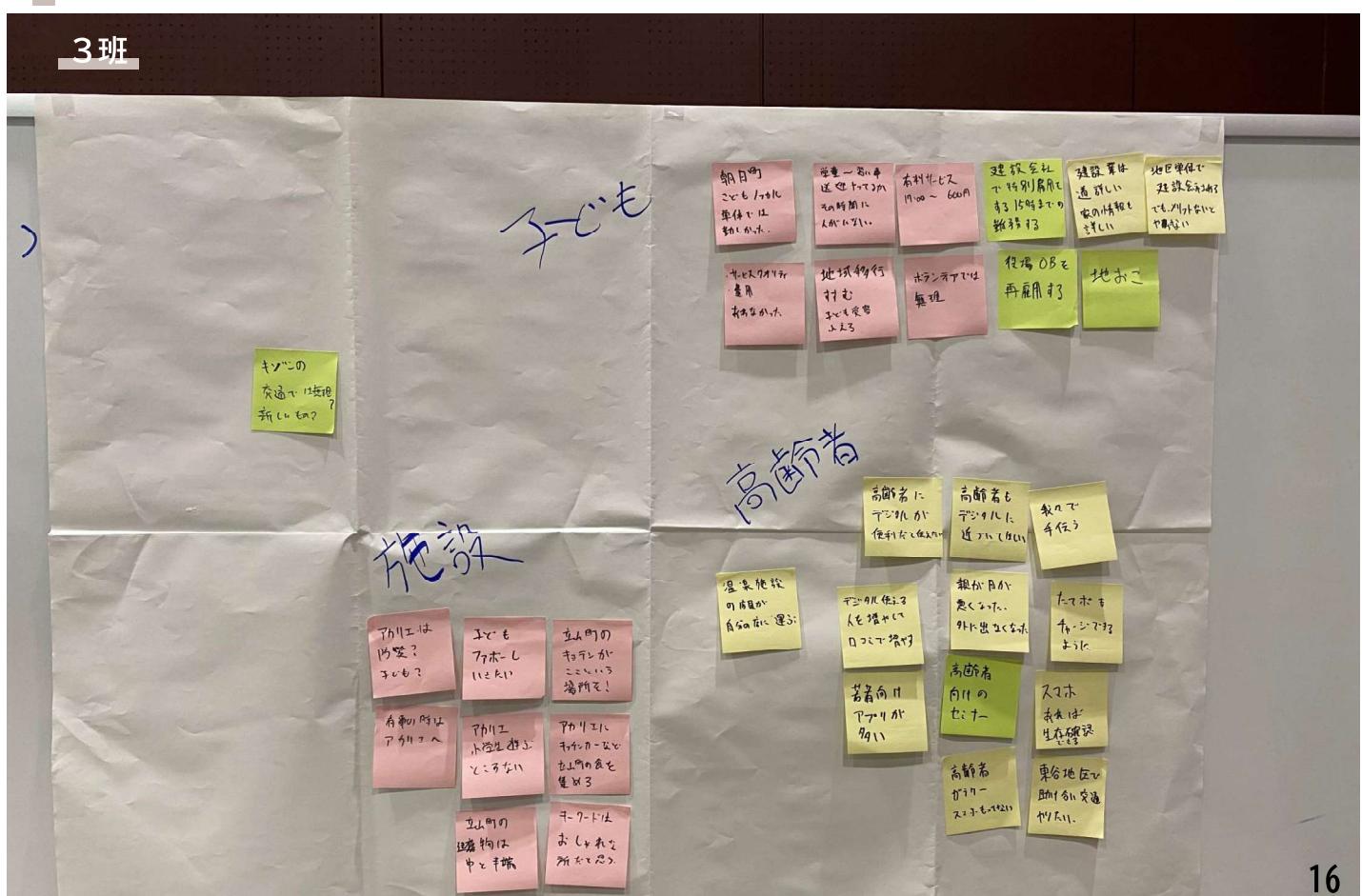
2班



15

3-3. データを活用した交通人材育成／民間事業者の協議の場の試行（2月17日）

3班



16

計画の策定に関する最近の動向について（本協議会直営事業）

- 公共交通に関心の高い住民や関係者を対象に、公募によるワークショップを実施。
- 「ヒト」「モノ」の面では、住民ドライバー活用や新たな交通の導入、利用促進、待合環境づくりへの住民参加などに関する意見。
- 「力ネ」「情報」の取組では、運賃割引・補助や統一運賃化、資金調達、決済等のICT化のほか、電車のPRやアテンダントの導入、情報提供、停留所の改善などの意見あり。

4

立山町交通ワークショップ

日 時

令和7年1月26日（日） 令和7年1月30日（木）

会 場

立山町元気交流ステーション 同左

参 加 者

10人（4～6人×2グループ） 19人（6～7人×3グループ）

概 要

- ・町営バス乗車体験 吉峰線（平日のみ）
- ・ワークショップ
 - STEP 1 「電車やバスの現況で重要なことや問題点はなに？」
 - STEP 2 「課題や取組について考えよう！」
 - ・グループ発表

写 真



17

STEP2
テーマ

課題や取組について考えよう！

グループA

休 日

重要なことや問題点	課題・方向性	取組のアイディア			
		ヒト	モノ	カネ	情報
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・空電車、空バス ・観光利用の増・減 ・利用者ニーズへの対応 ・担い手不足（運転士・技術係員不足） 	<p>No.4 お掃除ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内掃除のボランティアを募集してみる ・駅やバス停へのぼうき、ちりとりの設置 	<p>No.1 まちのひとが運転手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間にとらわれず、必要とされたらすぐドアの対応をする ・短いパートドライバーを多人数使うことで経費をマイナス ・病院、福祉施設は送り迎えを自己負担しているのではないだろうか？ ・タクシー：一般の地元の方が運転手（2次交通、買い物） ・軽四、マイクロ、タクシー、小型バスを多数、他路線出す！利用者のないところは変えていく！⇒アンケート 	<p>白タク△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 ・駅↔自宅 	<p>どこでも停留所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じてどこでも停留所 ・できるだけ近くで乗れるサービス（町営バス活用）
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野の車両活用 ・車両掃除 ・施設の老朽化↔充実 ・駅からの交通（2次交通） 	<p>No.3 資金集め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングなどで経営存続のための資金集めをしてみる ・地鉄はクラファン実績あり 	<p>No.5 WiFiの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内にWiFi 	<p>No.2 地鉄電車立山線に乗りたい!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通系ユーチューバーに立山線を紹介してもらう ・景色がきれい ・インスタ等、SNSで情報を出す⇒運行情報、電車・景色、イベント情報 	<p>No.6 たてボ連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たてボ」で鉄道などの定期券が購入できるようにする
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の赤字経営 ・運賃が高い ・地域バスの問題（運転手の責任問題） 	<p>No.4 車内アテンダント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内サービスで立山黒部アルペンルート開通時に電車でアテンダントを付ける⇒雄山高校観光学科新設高校生ボランティア活用 	<p>SNS改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSは話題性のあるもののみしか発信できていない ・安い乗り方、補助制度などは未発信⇒SNS使い方改善の余地あり 	<p>取組検討の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスの仕掛けづくり ・人を増やせない ・順位付け ・広報の役割 HP、バスロケ、マイルート 	
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードばかりでシステムに費用を使わない ・運行本数が少ない ・車内アナウンスが同じ ・広報不足 				

18

重要なことや問題点	課題・方向性	取組のアイディア		
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客が少ない 立山町への移住や定住が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人から移住者を呼び込む（台湾から？） 外国人観光客限定の立山町世界遺産ツアー 県外観光客を呼び込む 立山町へのふるさと納税の返礼品に観光割引サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 外国语を話せるアテンダントを乗車させる →外国人観光客への案内 	
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 車両、駅舎の老朽化 バス停が遠い ダイヤが使いづらい 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道路線を公道とみなす（上下分離） →地鉄の整備・管理の負担軽減 運行の合理化が必要 町内ごとに有償送迎者を募る 立山町でもライドシェアを展開する 町営バスは路線上は任意に乗降できることをPR 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道とバスが並行する部分は鉄道に一本化し、空いたバス車両で他路線を増強する 往復券にするなどで無人駅でも利用しやすいうようにする 	
力ネ	<ul style="list-style-type: none"> 運賃が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 県民の運賃を安くする イベントの周知・開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 雄山高校生の定期購入費用を補助 通勤通学時間（7時～9時）及び帰宅時間（15時～17時）以外の乗車料金を安くする イベントのカレンダー化 →運賃割引 お帰り乗車券の配布 	<ul style="list-style-type: none"> 観光割引（コロナ禍中は県民、市民も利用できた） 県民総株主化（地鉄）←一口を安価にする 町内移動の運賃をワンコイン化する 電車とバスの運賃を均一にする
情報	<ul style="list-style-type: none"> 案内が分かりにくい 外国人観光客への案内が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> 立山線の知名度を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> 電車、バスに介助員を付ける（アテンダント） パターンダイヤ 「あいの風」のようなパターンダイヤの可能性を探る ダイヤをパターン化する（30～60分毎） 立山線Tシャツを作る →小中高生が着て外国人にPR レトロ駅舎の紹介（本、YouTube） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の電子化対応 バスに立山町限定のICカードを導入して、どのルートにも行けるようにする 駅舎スタンプラリーで「たてボ」獲得
その他	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺が賑わっていない 乗っている時間が退屈 高齢者は一人暮らしの人が多い 公共交通の利用者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎 駅ごとにQRコードで観光や乗降の案内をする 立山町のボランティアや大学生にバスの乗車をしてもらい、車内で高齢者と交流できるようにする 公共交通に乗ってもらえるように町報でPRする 	<ul style="list-style-type: none"> 駅の再構築（宅配受取、学童クラブ、公共施設） 駅の近くに施設もしくはお土産屋の展開 釜ヶ淵周辺の田畠で小中高生向けの農業体験合宿 バスやタクシーでも立山町の魅力や観光地をアウンス 車と電車、バスの違いをPR（燃料費、免許が不要など） 	

重要なことや問題点	課題・方向性	取組のアイディア	
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 仕掛け <ul style="list-style-type: none"> 増便や利便性を高める取組により、利用者が増える状況を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい手法 <ul style="list-style-type: none"> Aイオンデマンド交通の導入、ライドシェア（2件） 自由乗降ができるといい
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 温泉まで行けるのが良い バス停までの距離が遠い 行きたいところに行けない ダイヤ、ルートの観光対応が遅れている 運行本数が少ない 交通が五百石駅に集中しきり 駅、バス停が使いづらい 車両が環境にやさしくない 	<ul style="list-style-type: none"> エリアごとの運行 <ul style="list-style-type: none"> エリアごとのピックアップ制度（時間はある程度決まっている） 運行ルート <ul style="list-style-type: none"> 町営バスのルート見直し ルートの整理（病院、観光、買い物、その他） 需要のある場所（バス停になる場所）の再設定 観光 <ul style="list-style-type: none"> 観光マップの作成 町内観光バスの運行 イメージ <ul style="list-style-type: none"> 懐かしいではなく新しい（近代的な）駅や車両にする 新しくきれいな乗降車スポット（いいデザイン） 	
力ネ	<ul style="list-style-type: none"> 割引制度が不十分 電子決済に対応していない 町営バスが安い 電車もバスも運賃や時間が変わらない 	<ul style="list-style-type: none"> 決済 <ul style="list-style-type: none"> これまで通り現金で決済してほしい 事業者さんは大変かも 	<ul style="list-style-type: none"> お出かけ定期券のようなものをつくる 電車の割引が必要（富山行）
情報	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表が見にくい 	<ul style="list-style-type: none"> PR、教育 <ul style="list-style-type: none"> 小中高生への出前授業 公共交通についての広報（紙、SNS、社協さんのサロン） 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が見ても分かりやすいデザインの時刻表を作る 町営バスのアプリを作る（簡単に検索でき、立山町一富山市をみれると良い） コンパクトシティ化
その他			

重要なことや問題点	課題・方向性	取組のアイディア		
		ヒト	モノ	力ネ
・住民意識	・公共交通をもつと身近な存在に ・みんなで使おう、守ろうという気持ち	生活との連携 ・生活に合わせた公共交通を使う ・買い物の際に地区住民が一緒に なってバスを使う ・バスに合わせた専用の診療時間	地域サービス ・学校、地域イベントで活用 (町から補助) ・町営バスを利用した交通安全 教室(子供、高齢者向け) ・地区内移動は無料	PR ・ラッピング車両が走行している様子をPR する ・スマホで見ることができるサイズでの情報 発信 ・LINEでの情報発信を読みやすくするた め、内容は1画面内で完結させる
・快適・安全性	・人を集める ・お金を集める	地域参加 ・バス停、ベンチの清掃(地区でのボランティア活 動) ・地域の子供たちが停留所を清掃 ・地域で駅舎を整備	快適な環境づくり ・買い物の荷物を置くスペースを設ける ・リアルタイムロケーションシステムをディスプレイ で表示する ・国の補助金を活用	
・使いやすい料金設定		公共交通の連携 ・立山町内の鉄道、バス、タクシー乗り放題きっぷ をつくる ・他の交通機関と乗り継ぎ割引きっぷを設定する 交通のICT化 ・運賃の支払いをキャッシュレス化 ・町営バスでも「たてボ」をチャージ可能に ・子供や高齢者が公共交通を使って、お店で「たてボ」 を使うとポイント5倍 ・My routeの活用	・地鉄電車や地鉄バス、町営バス相互の乗り継ぎが1枚の 定期券等ができるようにする ・安価な定期券の購入に制限を設けない	
・ニーズに応じた ダイヤとルート ・PR	・公共交通を使った お出かけをPR (広報、SNS) ・町からのお知らせ を車内に流す	運行の自由度 ・オンデマンド化する ・自由乗降できることを広報する タクシーのように 使いたい ・バス車内にも広告を流す	観光PR ・観光列車を運行させる ・観光スポット周遊バスを運行させる	業務の合理化 ・住民への広報(現在でも町営バスも「たてボ」支払が可 能) ・公共施設やコンビニと駅舎を合築 →新たな収益源 立山町の特産品がバスや電車内で貰える
その他	・全てにおいて、 住民から希望を 丁寧に聞きとる	・運転手さんへのチップ制度を導入		

重要なことや問題点	課題・方向性	取組のアイディア		
		ヒト	モノ	力ネ
・利用者数が少ない (多い時間帯もある)			公共交通の利用促進 ・電車、バスを利用したらポイント付与 ・利用促進アンバサダーを設定(定例会、表彰式の開催) →利用者お誘いでポイント2倍 ・町から乗車券を配布する	
・運転手不足				
・運転手がやさしい			立山プランディング →乗車時にバスの運転手が声をかけてくれる等	・運転手のサービスレベル向上の徹底
モ	・通勤通学の時間帯とそれ 以外の時間帯の車両が同じ		・利用者が少ない時間帯では普通車で運行する ・温泉上がりには高級車で移動する(アルファード) ・シェアタクシーを導入する	・射水市のようなデマンドタクシーを導入する(2件) ・小型モビリティとして各地に3輪車を導入(ベトナム)
ノ	・バス停、待ちスペース が快適でない ・買い物後の荷物が大変 ・車両の乗降が大変		・空き家、店舗を活用する ・空き家、空き車庫を待合所付きのバス停にする	・五百石を中心に地区間交通を活発にする
力	・運賃が高い ・人件費、燃料費の高騰		・電車運賃無料デーを設けてみる →駅員はお休みにして 人件費をかけない ・運賃がお得な日を設ける	・富山市のように時間を決めて運賃を一律にする ・もっと町から高齢者に補助金を出す ・おばあちゃんにタクシー補助を出す ふるさと納税 × クラウド ファンディング
ネ	・無料駐車場がある		・無料駐車場に募金箱を付ける→集まったお金は鉄道維持に使う	
情	・便数が少ない ・バス停の場所が分かりにくい ・ダイヤが複雑 ・時刻表や路線図が分か りにくい		・バス、電車の運行本数を増やす	・自由乗降できるようにする(乗車はバス停、 降車は自由等) ・運賃に「たてボ」が使えることをもっと広報する
報			時刻表・ルート図の作成・周知 ・時刻表、路線図を冊子にする ・公共交通LINEを作成する ・時刻表におすすめの観光地とおすすめの乗車時間 を載せる	
その 他	・他市町村に移動しにくい ・車窓からの景色が美しい ・車内が静か		・隣接市町村との連携(あいのり大山が使える等) ・観光列車を運行する ・車内の音楽でしゃべりやすい雰囲気をつくる →話したい人が集まる専用の車両を作る	